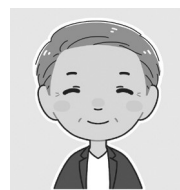


天気のおっちゃんのコラム 防災特集

気象予報士、元普及指導員

森田 彰朗

第二十一回



「農園タイムライン」

災害時に慌てないために

天気予報の技術が進んだおかげで、災害の原因となる気象現象の多くは、ある程度予測できるようにになりました。しかし、いざ「災害が起きそう」というとき、どう対応しますか。その場であわてて考えていては、災害時には間に合いません。事前に、自分の農園で起きそうな災害を想定し、いつ、何を準備するかを時系列にまとめておく、慌てず、適切な対応がとれます。災害に備えて、農園タイムラインを作りましょう。

この記事では農園の時系列の防災計画である農園タイムラインの作り方を、台風を例に解説します。

農園タイムラインとは

タイムラインとは、「いつ」、「誰が」、「どのように」、「何を」するか」を災害発生予測時刻か

ら逆算し、時系列で整理したものです。具体的には縦軸に時間、横軸に施設やほ場の区分を入れて、3日前には何をする、2日前には何をする、という表の形に整理していきます。こうすれば、いざ災害となったときにもこの表に沿って対応することができます。皆さんの農園でもタイムラインを作りませんか。

被害を想定しておく

一口に台風と言っても、強風もあれば、大雨もあります。風であれば、ビニールハウスの被害がまずは心配ですし、果樹や果菜類などは転倒することにも念頭に置く必要があります。大雨なら、田畑の浸水や冠水のほか、水路の溢水や畦畔の崩れ、土砂の流入などが考えられます。特に、作業場や農機具庫の浸水は、電気設備や農業機械類の全損を招きかねません。

必要な作業をリストアップ

例えば、ハウスの補強といっ

ても、ビニールの張り替えなど大がかりな作業が必要な場合と、バンドの強度の確認、ジョイント部分の点検など、軽微な作業ですむ場合があります。水路にしても、ゴミの片付けと漏水の補修とでは大違いです。

農園タイムラインの作り方

ここでは、作業場兼農機具庫、ビニールハウス、水田及び露地の野菜ほ場を持つ野菜農家を例に、タイムラインを作っていきます。

シートを用意(表1)

縦軸は時系列で上が作業開始時、一番下が台風最接近時です。

表1

さわやか農園台風タイムライン			
時間	作業場・農機具庫	ハウス	水田・露地
48時間前			
24時間前			
12時間前			
6時間前			
最接近			

表2

さわやか農園台風タイムライン(完成例)			
時間	作業場・農機具庫	ハウス	水田・露地
48時間前		ハウスの点検・補修 周囲の不要物除去	水路の点検 畑地の排水溝掘り
24時間前	建物の点検 排水の点検	周囲の排水溝掘り	支柱の確認・強化
12時間前	土のう積み 機械の退避	閉め切り作業	
6時間前	待機・避難		
最接近			

日頃からの点検、メンテナンスが大きくものをいう場面です。

作業の優先度を確認

作業のリストアップができたから作業の優先度を決めていきます。点検後に順番に作業するの

横軸には分類(ここでは作業場、ハウス、露地)を記入します。ほ場が分散している場合や、条件の異なるほ場がある場合では、分類をもっと細かくします。

作業を列記

次に分類ごとにどんな作業があるか、列記しておきます。

でもよいのですが、日数に余裕がなければ、一番打撃を受けるハウスや園芸作物の作業を優先させるのがいいでしょう。

ただ、機械庫の浸水が不安なら、農機は大雨の前に他所へ避難させることも考えましょう。

例えば、作業場だと、風で飛ばされそうなものの片付け、雨漏りや破れの補修、機械や資材の防水対策などが考えられます。ハウスでは、ビニールの点検はもちろん、強度が足りない場合は筋交いを入れる、部品の締め付けやパイプの点検、電気設備の防水対策など。

水田や露地ほ場では、排水関係や、支柱の強化、倒伏予防などがあそうですね。

作業項目を埋め、表が完成

作業項目が列挙できれば、時系列で表に埋めていきます。

ここで大事なことは、時間のかかる作業、補修が必要な作業は、早めから着手することです。台風では、中心から遠くても、強風や大雨になることがあります。早めに着手すれば、中心接近前に、時間がかかる防災対策を完了することができます。

表2が完成例です。
へ(7面に続く)